

# Shake Hands



常滑国際交流協会 2015年1月25日発行 第106号

〒470-0837 常滑市新開町5-58 常滑商工会議所内

Eメール：tia@japan-net.ne.jp 電話・FAX：0569-34-4797

## ホストファミリーを募集します。

外務省が実施している JENESYS 2.0 (21 世紀東アジア青少年大交流事業) で来日する高校生のホストファミリーをしていただけのご家族を募集しています。

JENESYS 2.0 とは：外務省が JENESYS 1.0 に続き 2013 年度から実施している、3 万人規模のアジア大洋州諸国及び地域との間の青少年交流事業です。この事業は日本に対する関心の増進、日本的な価値への理解を増進することを目指しています。

主な内容は下記の通りです。よろしくお願い申し上げます。

### 記

ラオスの高校生、受入予定人数は25名、男女比は未定  
ホームステイ日程 2泊

3月20日(金) 午後6時頃 常滑駅到着後、

常滑商工会議所東館にて対面式

3月21日(土) ホストファミリーと共に過ごして頂きます。

3月22日(日) 午前8時30分 常滑駅集合後出発



**ラオス**：ラオス人民民主共和国、通称ラオスは、東南アジアに位置する共和制国家である。国土面積は 236,800 平方km。ASEAN10 か国で唯一の内陸国。北に中華人民共和国、西にミャンマー、東にベトナム、南にカンボジア、タイと国境を接する。首都はヴィエンチャン。人口は 677 万人。

応募申込は「氏名、住所、電話番号、メールアドレス」をご連絡下さい。

さらに詳細についてはお問合せ下さい。

問合せ・連絡先 **常滑国際交流協会**

〒479-0837 常滑市新開町5-58 常滑商工会議所内

電話及び FAX：0569-34-4797 メール：[tia@japan-net.ne.jp](mailto:tia@japan-net.ne.jp)

# フランス・パリの陶芸グループの ホストファミリーを募集します。

フランス・パリの中心マレ地区のギャラリー・ハヤサキ・アトリエミールを拠点に陶芸活動している陶芸グループの20名の2泊のホストファミリーを募集します。

このグループは今回4度目の訪問です。来訪予定者は30歳代から60歳代までの陶芸家及び芸術文化関連などの職業の方です。

《月日》4月4日（土）常滑到着 常滑商工会議所 東館にてホストファミリーと来訪者対面会

4月5日（日）常滑市内で陶芸家工房訪問

4月6日（月）朝、常滑を出発

募集は20名、2名1組の受入も可能です。必要な数になりましたら締切ります。

この機会にホストファミリーをしていただき、国際交流をご体験下さい。

応募申込は「氏名、住所、電話番号、メールアドレス」をご連絡下さい。

問合せ・連絡先：**常滑国際交流協会** 〒479-0837 常滑市新開町 5-58 常滑商工会議所内

電話・FAX 34-479 7 メールアドレス [tia@japan-net.ne.jp](mailto:tia@japan-net.ne.jp)



## タイ受入事業を終えて

小鈴谷小学校国際交流委員会 委員長 平野麗子



平成26年10月5日(日)～10月25日(土)までの3週間、タイ・プラサーンミット校の児童6名と、リーダー2名を受入しました。タイの子供達とリーダーは、とても礼儀正しく穏やかで、何事にも前向きに楽しく参加してくれました。小鈴谷小学校の児童や先生方、ホストファミリー、事業に関わってくれた皆様が楽しく交流する事が出来ました。ウェルカム集会では、流暢な日本語で自己紹介をしたり、数々の伝統舞踊を披露してくれました。その中でも合掌の踊りは、とても可愛らしい踊りで、小鈴谷小学校の生徒たちは訪問団に教えてもらい、一緒に踊っていました。これこそ言葉が通じなくても、気持ちが通じ合えた瞬間でした。

クラスレッスンは、学年別でタイの文化を教えようというプログラムです。リーダーの先生はその説明を、朝のミーティングや空き時間に、私たち委員から日本語を教わり、翻訳して説明をしていました。訪問団は、生徒たちが理解しているか一人ずつ丁寧に見回り時にはタイ語で名前を書いてあげていました。小鈴谷小学校の生徒たちにとって、タイの文化に触れる貴重な体験になったと思います。

各学年の授業参加では、鉄棒や竹馬に挑戦したり、習字で漢字を書いたり、折り紙の折り方を教えてもらったり、各学年の授業を受けることができました。こうした交流を通して、ふれあいや友情の輪が広がったのではないのでしょうか。

校外では、市長表敬訪問、マルサイさんのご好意で着物の着付け体験、校区内にある味の館では味噌蔵を見学し日本の食文化のお話を聞いたり、市政60周年のイベントでは、ハッピーを着て山車を引き、日本の文化を体験することができました。今回の交流で、お互いの子供たちが今後も交流が続きますように。そして、国際文化に対し深く興味を持ち、国際社会に貢献できる人に成長してくれることを願います。タイ受け入れ事業を、大成功で終えることができました。ご支援、ご協力頂いた皆様に感謝致します。今後もこのような交流活動が続くことを楽しみにしています。



## 常滑市立常滑西小学校 TSIE 交流事業

メキシコ トーマス・アルバ・エジソン校 受入

10月13日(月)～11月2日(日)

男子3名・女子5名・リーダー2名



常滑西小学校は、学区再編後初の交流事業です。

児童も倍、先生も倍になり、どうなる事かと不安でした。しかし、メキシコ訪問団は、とても明るく、どんな事にもチャレンジし、いつもパワフルでした。

メキシコの当たり前前の挨拶『ハグ』は全ての不安を取り除き一瞬にして友達になる、素晴らしい行為でした。ホスト児童とは毎日一緒に登下校しました。

言葉はわからなくても笑いながら歩いている姿をみて、子供の力はすごいな～と感心しました。

学校ではアイドル並みの人気で、オーラー！という声が、いろんなクラスから聞こえてきました。

常西小の児童は毎日一緒に勉強し給食を食べ、語り合い、笑い合いました。

訪問団が帰国した後、子供達はメキシコルームをのぞき「さみしいな～」、「また会いたいな～」という声を、たくさん聞きました。

たった3週間の交流でしたが、常滑西小学校の児童、先生、保護者にとって一生忘れる事のない体験ができたと思います。

貴重な交流ができた事に感謝申し上げます。

常滑西小学校委員長 田中早苗

〈お茶・お花体験〉



### 受け入れ中のスケジュール

訪問：常滑市役所、常滑中学校、丸山保育園常滑東小学校、鬼崎南小学校

見学：散歩道、知多木綿、盛田味の館 INAX ライブミュージアム

体験：陶芸、饅頭作り、うどん作り、お琴 お茶・お花

